重　要

名古屋国税局

名古屋国税局において採用面接登録を行う場合の留意事項

第２次試験当日に「採用面接登録書」を提出していただきますが、**名古屋国税局では、次のとおり採用面接の回次を指定**しますので、ご承知おきください。

１　採用面接回次の指定

名古屋国税局の採用面接は、**原則として、受験番号により、採用面接の回次を指定**します。
下表に従い「採用面接登録書」の「３　採用面接の希望回次及び開催日」を記載してください。

受験番号	回次	開催日	受付時間
27001 ～ 27060 の方	第１回	８月13日（水）	９：００～９：３０
27061 ～ 27200 の方	第２回		１３：００～１３：３０
27201 ～ 27400 の方	第３回	８月14日（木）	９：００～９：３０
27401 ～ 27600 の方	第４回		１３：００～１３：３０
27601 ～ 27800 の方	第５回	８月15日（金）	９：００～９：３０
27801 ～ 67022 の方 上記以外 の方	第６回		１３：００～１３：３０

２　指定された回次の都合が悪い場合

お住まいが遠方であるなどの理由により、**指定された回次では都合が悪い場合には、ご自身が希望する回次を「採用面接登録書」へ記載**してください（名古屋国税局へ電話連絡する必要はありません。）。

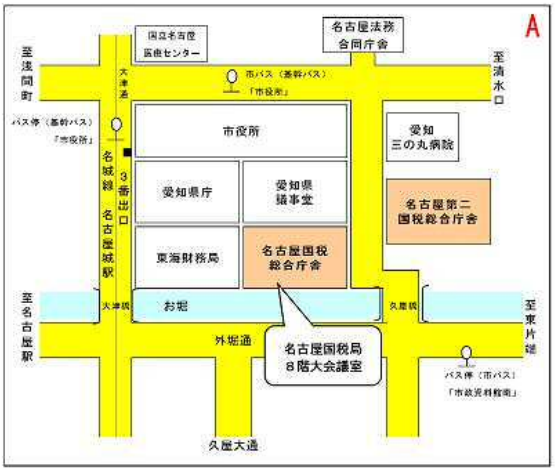
なお、**採用面接の回次を変更した場合であっても、その後の採用結果に影響はありません。**

※　**名古屋国税局以外の国税局で採用面接登録を行う方**は、「2025年度国税専門官採用試験採用面接の実施について」を参照の上、ご自身が希望する回次等を記載してください。

【採用面接の実施場所】

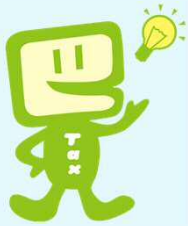
名古屋国税総合庁舎　８階大会議室

〔所在地〕名古屋市中区三の丸３－３－２
〔交通手段〕
・地下鉄名城線「名古屋城駅」３番出口から徒歩１０分
・市バス、名鉄バス「市役所」バス停から徒歩１０分
・市バス「市政資料館南」バス停から徒歩５分



2025年度国税
専門官採用試験
第一次試験
受験者限定！

業務説明会



～業務説明、パネルディスカッション、
職員との座談会、仕事まるわかり動画上映会～

※対面・Webともに内容は同一です

対面形式

令和７年６月24日（火）

・会場：名古屋国税局
（名古屋国税総合庁舎）
名古屋市中区三の丸三丁目３番２号

・服装自由、筆記用具持参

Web形式

令和７年６月25日（水）

・Webexを使用

・６月20日（金）17時までに
リクナビにてＵＲＬを送信します
※メッセージが届かない場合、下記連絡先
までご連絡ください。

【回次】① ９:10～10:50／②12:50～14:30／③15:10～16:50
※各回開始15分前から入場できます
※開始時間後の途中参加はできません

【各回定員】対面：100名　　Web：120名

【予約】リクナビ2026からお申込みください

【申込期間】令和７年６月17日（火）AM10:00～
６月20日（金）正午

【その他】

・業務説明会への申込みの有無は、試験結果に影響を及ぼすものではありません。

・交通費、通信費は自己負担となります。

・名古屋国税局内に、お待ちいただくスペースはございませんので、対面の説明会に参加する場合は入場開始時間前に来局しないようにお願いします。

・対面、Webいずれについても、参加できなくなった場合の電話連絡等は不要です。

・説明会において、税務署や調査の様子などをWeb-TAX-TV等の動画を用いて紹介いたしますので、税務署見学に代えて是非ご参加ください！

【連絡先】
名古屋国税局　人事第二課　試験係
052-951-3511【内線】3451

担当者からのメッセージ

私たち国税の職場は、この国の税務行政を守る最後の「砦」です。今を生きる人々の社会を守るため、次世代を担う人々の未来を守るため、
私たちは不正を決して許さないという「正義感」を胸に仕事をしています。
挑戦してみたいという気持ちがあれば十分です。難しそうと身構えず、国税の世界へ一歩踏み出してみませんか？
私たちは、これからの税務行政を担うあなたをお待ちしています。

ワークライフバランスについて

男女問わず、すべての職員がワークライフバランスを確保できるよう、様々な両立支援制度があります。

職員が気兼ねなく両立支援制度を利用できる職場環境の醸成を目指しています。
また男性職員の家庭生活への関わりも推奨しており、育児休業等の取得にも積極的に取り組んでいます。

VOICE
現場から

名古屋国税局 徴収部
特別整理第一部門
国税徴収官
服部 由花 YUKA HATTORI

日々の業務を周りがサポートする風土がある

名古屋国税局の徴収部特別整理第一部門で、差押不動産や差押動産の公売事務を担当しています。不動産などの評価には、対象財産を実際に見る必要があるため、県外への出張もあります。現在は子供との時間を最優先し、制度を活用して時短勤務中。業務の効率化を常に考えながら働いていますが、退勤時には上司や同僚が電話対応を代わってくれるなど、日々支えられています。そのおかげで勤務終了後はすぐに今日の献立を考えるなど、気持ちを切り替えられる環境があります。

柔軟な働き方ができる環境がある

周りの先輩方は子供の習い事やイベントのため、フレックス制度を利用した柔軟な働き方をされていますので、私もフレックス制度を利用した働き方も視野に入れながら、将来的にどのように働くかを考えています。国税の職場は男性も含めて育児休業などの取得は当たり前のような雰囲気がありますので、とても働きやすい職場だと思います。

1日のスケジュール　**1日の勤務時間　7時間45分**

8：30 送迎保育園へ → 9：00 出勤 → 10：00 出張等 → 12：15 昼食 → 12：45 終了昼休憩 → 15：00 打合せ等 → 16：15 退庁 → 16：45 帰宅

育児時間　休憩時間短縮特例　育児時間

※休憩時間を45分から30分へ短縮

これまでに取得した制度

- ☑ 産前産後休暇
- ☑ 保育時間
- ☑ 休憩時間短縮特例
- ☑ 育児休業
- ☑ 育児時間
- ☑ 子の看護休暇

名古屋国税局　人事第二課 試験係

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸3丁目3-2　TEL.052-951-3511

詳細はこちらへアクセスをお願いします

国税庁HP　名古屋国税局HP　Web-TAX-TV　国税庁動画チャンネル

名古屋国税局

RECRUITING GUIDE

採用募集

名古屋国税局とは？

国税庁の所管官庁である名古屋国税局は、東海４県（愛知県、三重県、岐阜県、静岡県）を管轄しており、採用者は名古屋国税局と管轄内の税務署に配属となります。自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現することを使命とし、内国税の賦課・徴収を行う官庁として、国の財政基盤を支える重要な仕事をしています。国税職員は税のスペシャリストとして、法律・経済・会計などの専門知識を駆使し、提出された申告内容の誤りを正す「国税調査官」、期限までに納付されていない滞納税金を徴収する「国税徴収官」、悪質な脱税者に対して強制調査を行う「国税査察官」といった職種にわかれて活躍しています。

国税で働くためには？

各自の受験資格に応じた採用試験に合格する必要があります。採用されますと、税法や会計等の知識を習得することができる税務大学校での研修を経て、管轄内の税務署に配属されます。各採用試験及び初任給は次のとおりです。試験概要については、国税庁HP（裏面２次元コード参照）をご覧ください。

	受験資格	初任給
● 税務職員採用試験	高校卒業程度	248，748円
● 国税専門官採用試験	大学卒業程度	286，938円
● 国税庁経験者採用試験	大学卒業後８年経過	349，524円

※初任給は名古屋市内に勤務した場合の令和７年４月１日現在の金額となります。

INTERVIEW

～ 採用１年目（事務官）～

オモシロさも、社会貢献実感も、想像以上。

岐阜北税務署 法人課税第五部門
冨田 純也 JYUNYA TOMIDA

税務職員としての一歩目は、刺激と挑戦の連続

両親の職業の影響もあり、幼い頃から公務員への憧れを抱いていました。またドラマで税務職員の仕事を知り、国の財政基盤を支える重要な仕事を私もしてみたい！と思ったことが、この道を選ぶ決め手となりました。入庁後の税務大学校での研修は、全国各地から集まった同期とともに、専門知識を深めながら互いに刺激し合い、自由時間には一緒に食事に出かけるなど、とても充実した時間を過ごしました。研修を終えた今でも、同期とは定期的に連絡を取り合い、互いの成長を支え合っています。

成長実感が、仕事の原動力

現在は法人課税部門に所属し、法人の税務調査を担当しています。研修後は先輩職員に同行し、調査等の進め方を学びました。納税者との対話を通じて企業や業界の状況を深く理解する必要があるため、日々新しい発見があることに面白さを感じています。また税務調査は正しい申告の指導だけではなく、納税者との信頼関係を築くことも大切です。今は、上司に提出した書類が付箋だらけで戻ってくることがありますが、その指摘の数は自分の成長ポイントの数。学びを自分の力に変えて、スキルアップしていきたいです。

INTERVIEW

～ 採用20、30年目（統括官）～

数字よりも、人と向き合う力が大事。

名古屋中税務署　個人課税第二部門
統括国税調査官
大野 仁美 HITOMI OHNO

安心してキャリアを築ける環境がある

国税局の会計課、人事課、資料調査課など、多様な部署を経験し、現在は個人課税部門の統括国税調査官として働いています。結婚や出産などのライフイベントを経ても、柔軟な働き方が可能で、職場に復帰する際も安心して仕事ができました。この仕事の魅力は、新しい法律や社会の変化に対応するなかで、一貫して専門性を高める機会があること。また仕事を通じて自分のスキルを高め、誰もが公平に活躍できるこの職場は、長く働きたいと思える魅力にあふれていると感じます。

すべての経験が、自分を強くする

キャリアを重ねていくなかで、仕事について悩むこともありましたが、周囲の仲間が親身に寄り添い、解決策を考えてくれたことで前を向くことができました。今までに様々な部署を経験させてもらいましたが、この支え合いの文化は、どの部署でも同じです。今は部下を持つ立場として、この文化を未来の職員に引き継ぎたいと思います。税務職員は人と向き合う場面が多く、納税者との関係構築がとても重要です。研修で知識を得て、日々の業務でコミュニケーション能力を培う。常に能力を高めることを追求しながら、充実感を味わえる仕事です。

VOICE

5年目職員

名古屋国税局 課税第二部
資料調査第二課 国税実査官
橋口 恵 MEGUMI HASHIGUCHI

仕事内容	資料調査課は、任意調査の最高峰と言われており、悪質・大口な納税者を調査し、多額な不正を把握することを目的として調査を行っています。
現在の仕事のやりがい	税務調査のプロフェッショナル集団の一員として、調査能力の高い先輩方と同じ立場で仕事ができることに誇りとやりがいを感じています。
今後のキャリアについて	資料調査課は１年目になりますので、先輩職員の調査手法を学び、その経験を生かして税務署の若手職員の指導育成に力を入れていきたいです。

VOICE

15年目職員

名古屋国税局　課税第一部
資産課税課　監理第三係長
瀬川 雄 YU SEGAWA

仕事内容	国税局の係長として、システムの開発・運用を担当し、データの分析・活用を通じた効率的な事務運営支援などにも取り組んでいます。
現在の仕事のやりがい	税務署を監督・指導する立場として、現場職員が困らないよう事務運営の見直しを行い、円滑に仕事が進められたときに、やりがいを感じています。
今後のキャリアについて	現場の責任者である統括官として最前線に立ち、部下職員の調査スキル向上のために適切な指揮・指導をしたいと考えています。

スペシャリストへの道

1年目

調査・徴収からスタート
次のステップへの準備期間！

5年目～

国税局・税務署…
調査官／徴収官／査察官

習得した調査・徴収技法を駆使し、
国税庁や国税局など
幅広いフィールドで活躍！

15年目～

国税局… 係長
税務署… 総括上席

各部門の事務運営を企画・立案するほか
管轄内の税務署を監督・指導！

20年目～

国税局… 専門官・課長補佐
税務署… 統括官・総務課長

国税局・税務署の第一線の指揮官として
部下職員を指揮・指導！

30年目～

国税局… 課（室）長
税務署… 副署長・署長

国税局・税務署の幹部職員として
税務行政を舵取り！

CAREER PATH

SPECIALIST